

無料オンラインセミナー

 mediford
A Member of PHC Group

医師主導治験の現状と セントラルラボサービスの活用



2025 **8/28** (木) 15:00-16:00

演題 1

なぜ今、医師主導治験なのか？ —実績・意義と企業治験との違い—

株式会社CTD 代表取締役社長 **小林 史明**

医薬品医療機器審査センター（現PMDA）で新薬の承認審査業務に従事。
その後、日本医師会治験促進センターにて医師主導治験を支援し、2010年に株式会社CTDを設立。
その後約100件の医師主導治験に関わり、15件の承認を取得。



医師主導治験が実施可能となり20年超が経過した。開始当初は、GCPの解釈、資金確保、治験薬（機器）提供者との関係構築など、やるべきことすべてが初めてで多くの戸惑いがあった。

企業治験とは、GCPは基本的には同一で、治験の手順には一部違いがある部分もある。既に多くの医薬品、医療機器等が、医師主導治験の成績に基づき承認されており、医師主導治験は今や医薬品、医療機器等の開発手段として必要なものになっている。

本ウェビナーでは、医師主導治験の経過及び実例を紹介し、その成果を述べる。また、企業治験との違いについて説明するとともに、今後、企業が医師主導治験に関わるうえで考えるべき事項を提示する。

演題 2

治験の成功を支えるセントラルラボサービスの紹介

メディフォード株式会社 治験事業部 プロジェクトマネジメント部 **佐藤 隆弘**

メディフォードでは、セントラルラボサービスが担う検査資材作製・検体管理・検査結果報告・データ管理を一括してマネジメントしており、医師主導治験にも対応した柔軟な体制と高品質なデータ提供で、臨床現場を力強くサポートしている。

本ウェビナーでは信頼性の高い治験実現をサポートする仕組みや実例を紹介する。

お申し込みはこちら

https://pages.mediford.com/EV-MDF_20250828_registration_96pky4.html



お問い合わせ | ウェビナー事務局

メディフォード株式会社
medf-dds-ddsso@gg.mediford.com
〒174-0053 東京都板橋区清水町 36 番 1 号